

# 長期投資家に刺さる 統合レポート・ESGディスクロージャーとは？

いま、ダブルコードは機関投資家・企業間の中で着実に浸透し始めています。こうした中、資本市場におけるインベストメント・チェーンの好循環をさらに促進していくためには、企業はより深く資本市場の動きや多様性のある思考を理解し、実効性のある対話と向き合い、統合レポートやESGディスクロージャーに生かすことが急務となっています。

当セミナーでは、PRIに署名しているGPIFのような長期保有の巨大アセットオーナーから資金運用を受託するアセットマネージャーが、どのような投資家行動をとることで受託者責任を果たそうとしているのかについて俯瞰をしながら、ポイントを整理してご紹介します。

基調講演では、機関投資家の姿と課題、実際の取組み、後半のパネルディスカッションでは、企業と投資家との建設的な対話の架け橋となる統合レポートやESGディスクロージャーについて、専門家・投資家の間で議論を展開していただき、長期投資家に刺さるためのIRの重要なポイントを考えていきます。

**日時** 2017年2月2日(木) 13:45~16:30 (受付開始13:30)

**会場** 野村コンファレンスプラザ日本橋5F大ホール

アクセス: <http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/access.html>

○ 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」A9出口直結(徒歩1分)

**対象** 企業のIR、広報、経営企画、法務、CSR部門などで統合報告やESG開示に携わる実務担当者等

○ 申し訳ございませんがIR支援会社など同業の方のお申し込みはご遠慮いただいております。

**定員** 100名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

**参加費** 無料

**登壇者** 堀江 貞之氏 野村総合研究所 金融ITイノベーション研究部 上席研究員

小野塚 恵美氏 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 運用本部

スチュワードシップ責任推進室長 ヴァイス・プレジデント

松原 稔氏 りそな銀行 信託財産運用部企画・モニタリンググループ グループリーダー

小澤 ひろこ氏 国際統合報告評議会(IIRC)日本事務局

**主催** 株式会社エッジ・インターナショナル

**後援** 日本IR協議会

## お申込み

参加ご希望の方は以下、URLよりお申込みください。

<http://peatix.com/event/219663>

お問い合わせ先: IR・ESGセミナー担当(E-MAIL: [seminar-info@edge-intl.co.jp](mailto:seminar-info@edge-intl.co.jp))まで。

<p><b>ごあいさつ</b> (5分)</p>	<p>13: 45～ 13: 50</p>	<p>エッジ・インターナショナル 代表取締役 <b>梶原 伸洋</b></p>
<p><b>基調講演</b> (50分)</p>	<p>13: 50～ 14: 40</p>	<p><b>2つのコードの視点からー 長期の企業価値創造に向けた対話のあり方とは(仮)</b> 野村総合研究所 金融ITイノベーション研究部 上席研究員 <b>堀江 貞之氏</b></p> <p>1981年同社入社。1986年「NRI債券パフォーマンス指数」(後、NOMURA-BPIと改称)を開発。1986～1988年ニューヨーク事務所勤務、オプション・モデル等を開発。1996～2001年野村アセットマネジメントでGTAAと通貨オーバーレイファンド、併せて10億ドル以上を運用。大阪経済大学大学院客員教授。未来投資会議「企業関連制度改革・産業構造改革」会合メンバー(2016年10月～)。主な著書に『「市場」ではなく「企業」を買う株式投資』(共著)、『ROE最貧国日本を変える』(共著)、『コーポレートガバナンス・コード』がある。</p>
<p><b>講演I</b> (20分)</p>	<p>14: 40～ 15: 00</p>	<p><b>スチュワードシップ活動と 投資家・企業の対話の大きな変化 ①</b> ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 運用本部 スチュワードシップ責任推進室長 ヴァイス・プレジデント <b>小野塚 恵美氏</b></p> <p>2000年同社入社。営業部、運用部、業務部における多岐にわたる資産運用関連業務を経験後、チーフ・オペレーティング・オフィサーに就任。アジアパシフィックにおける債券通貨運用部、株式運用部、計量運用部の運用インフラを統括。また、スチュワードシップ責任推進室長として、日本国内における同社のESGリサーチ、企業との対話を担当。同社入社以前は、JPモルガン銀行に2年間在籍。</p>
<p><b>講演II</b> (20分)</p>	<p>15: 00～ 15: 20</p>	<p><b>スチュワードシップ活動と 投資家・企業の対話の大きな変化 ②</b> りそな銀行 信託財産運用部企画・モニタリンググループ グループリーダー <b>松原 稔氏</b></p> <p>1991年同社入行、年金信託運用部配属。以降、投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部で運用管理、企画を担当。2009年4月より現職。日本証券アナリスト協会セミナー企画委員会委員、企業価値分析におけるESG要因研究会委員(-2015.6)、社会的責任投資フォーラム運営委員、PRI(国連責任投資原則)日本ネットワークコーポレートワーキンググループ議長。環境省「持続可能性を巡る課題を考慮した投資に関する検討会」メンバー。</p>
<p>休憩10分</p>		
<p><b>パネル ディスカッション</b> (60分)</p>	<p>15: 30～ 16: 30</p>	<p><b>目的ある対話(エンゲージメント)の実効性を高め、 山を動かすためには、何が必要なのか</b> ～長期投資家に刺さる統合レポート・ESGディスクロージャーとは～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話による変化の兆しの感触や体験</li> <li>・対話とディスクロージャーによる好循環のためのヒント</li> <li>・ガバナンス・ストーリーへのヒント</li> </ul> <p><b>パネリスト</b> 野村総合研究所 金融ITイノベーション研究部 上席研究員 <b>堀江 貞之氏</b> ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 運用本部 スチュワードシップ責任推進室長 ヴァイス・プレジデント <b>小野塚 恵美氏</b> りそな銀行 信託財産運用部企画・モニタリンググループ グループリーダー <b>松原 稔氏</b></p> <p><b>モデレーター</b> 国際統合報告評議会(IIRC)日本事務局 <b>小澤 ひろこ氏</b></p> <p>会計監査法人系コンサルティング・ファームにて、企業買収および事業再編のアドバイザー業務を経験後、新日本有限責任監査法人に入所。同法人にて、主に企業報告、リスクマネジメント、コンプライアンスに関する各種アドバイザー業務を経て、2012年5月より国際統合報告評議会(IIRC)に出向。</p>